

事業の背景・目的・概要

- 「水素基本戦略」では、地域の水素利活用が重要な課題となっており、地域水素サプライチェーンモデル構築の必要性が示されている
- 本事業では静岡県裾野市のCO₂フリー水素ステーションから街*に設置された燃料電池にパイプラインで水素を供給するシステムを開発する
- 水素供給実証を通じて、安全性・経済性等に関わる運転データを取得し水素ステーションを活用した最適な地域水素供給モデルを構築する

事業イメージ

実施体制および主な役割

全体スケジュール

水素エネルギーマネジメントシステム（水素EMS）の開発

パイプライン供給先の水素利活用情報を用いた需要予測技術の開発

水素EMSを活用した水素供給実証

パイプライン実証設備の安全性評価・安全対策検討（横浜国立大学との共同検討）

水素パイプライン実証設備に対する定性・定量的リスク評価・分析

流量計・圧力計等を活用した水素漏えい検知技術の開発